

みやぎハイスクール通信

第4号

発行日：令和7年8月26日

発行者：宮城県教育庁高校教育課

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyou/gak-mailmaga-bknum.html>

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップの取組や特色ある学校行事の紹介、生徒の活躍（成果報告等）、入学を目指す皆さんへのお知らせなど、魅力的な取組に関する情報が満載です。

中学生の皆さんの進路選択に、ぜひ御活用ください。

8月号の目次

1 マナーアップの取組紹介

（1）伊具高校 （2）名取高校 （3）古川黎明高校

2 特色ある学校行事等の紹介

（1）柴田高校 （2）泉高校 （3）塩釜高校 （4）松島高校

（5）古川高校 （6）松山高校 （7）迫桜高校 （8）石巻好文館高校

（9）石巻工業高校 （10）石巻商業高校 （11）本吉響高校

3 生徒の活躍（活動の成果報告等）

（1）南郷高校 （2）築館高校 （3）岩ヶ崎高校

4 入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）

（1）石巻高校

1 マナーアップの取組紹介

(1) 伊具高校

〈マナーアップ運動〉

伊具高校では毎月1回、朝のあいさつ運動と自転車マナーアップ運動を行っています。8時20分から8時35分までの15分間、校門前で生徒会の生徒があいさつ運動を実施し、生活・交通委員会が学校前の車通りの多い交差点で自転車マナーアップ運動を実施しています。特に自転車のマナーについては、イヤホンをしながらの運転禁止や交差点での一時停止及び左右確認を徹底するよう声掛けをしています。また、自転車の施錠についても声掛けをしています。昨年度の最後のマナーアップ運動では、角田警察署の方にも参加していただき、鍵を配布して施錠を呼びかける活動も行いました。今後も地域と連携した交通安全指導に取り組んでいきます。交通安全に関しては、交通安全防犯教室の他、地域の自転車業者の方に協力いただき、バイク・自転車点検も実施し、バイク・自転車の整備から交通安全の意識を高めています。

今後とも、交通安全、挨拶を身に付けられるよう、生徒が主体となって活動していきます。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://igu.myswan.ed.jp/>

(2) 名取高校

〈生徒指導部 マナーアップ運動について〉

名取高校では、毎月中旬に岩沼駅から学校までの通学路において、生徒会役員と交通安全委員を中心に『マナーアップ運動』を実施しています。登校中の生徒に向けて、朝の挨拶とともに交通ルールの遵守や登校時のマナー向上を呼びかけています。これからも地域の皆さまに愛される学校を目指し、継続してこの活動に取り組んでいきます。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

(3) 古川黎明高校

〈特別活動（LHR） いじめ問題について考える〉

本校では、令和7年度の重点目標の一つとして「違いを認め尊重しあう社会性の育成及びいじめを生まない心の醸成」を掲げています。その目標を達成するためには、生徒一人ひとりが自分の言動を意識し、他者を尊重する姿勢を伸ばす機会を教育活動の中で継続的に設けています。



その一つとして、6月27日（金）の全校LHRでは「いじめ問題について考える」時間を持ちま

した。SNS上での投稿を含めて自らの言動によって相手が嫌がったり、傷ついたりすることに気づき、日常生活の中で常に相手を気遣う態度や行動を育むことができるように取り組みました。「いじめ防止対策推進法」を取り上げ、いじめの定義と重大さを理解した上で、「学校内外で相手が嫌がる言動をしている・したことがあるか」について班で話し合い、そのときの自分の気持ちと相手の気持ちを考える活動を行いました。班内で出た意見をまとめてクラス内で共有することで、自分の言動が周囲に与える影響を一層意識するきっかけとなりました。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://freimei-h.myswan.ed.jp>

2 特色ある学校行事等の紹介

(1) 柴田高校

〈第1回オープンキャンパス・学校説明会開催〉

8月2日(土)に第1回オープンキャンパスを実施しました。保護者の方を含め、265名に御参加いただきました。悪天候かつ暑さの厳しい中でしたが、御来校くださりありがとうございました。

「今回は予定が合わず参加できなかった」「もっと柴田高校について知りたい!」という中学生の皆さんにお知らせです。

本校では年に3回のオープンキャンパスを開催しています。第2回オープンキャンパスは、10月5日(日)に開催予定です。本校の特色でもある「体育科」を志望する方を対象にしたもので、体験できる部活動も体育科専攻実技の6種目のみとなっています。体育科に関心のある皆さんは、ぜひ御参加ください。

また、第3回オープンキャンパスは、11月1日(土)に開催予定です。こちらは、普通科・体育科の両方を対象としており、個別相談会も実施します。入試等に関する疑問点や不安などがありましたら遠慮なく御相談ください。

中学生の皆さんの御来校をお待ちしております。

そのほか学校生活や入試について疑問点等あれば気軽にお問い合わせください。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://sibata.myswan.ed.jp>

(2) 泉高校

〈泉高祭(文化祭)大いに盛り上がる〉

7月11日(金)・12日(土)に泉高校の三大大行事でもある『第53回 泉高祭』を開催することができました。「泉高祭楽しめないようじゃ無理か。泉高祭はね、楽しまないと。～何やってるんですか!?青春して下さい!!～」のテーマのもと、全校生徒が集い歓喜と歓声が体育館にこだまする最高の賑わいの中での泉高祭となりました。3年生ダンスや吹奏楽部、書道部、チアリーダー、軽音楽同好会などのパフォーマンスもあり、大いに盛り上がることができました。また、校舎内では自然科学部や美術部、文芸部、写真部、家庭部、園芸部などの作品展示、3年生や運動部を中心とした模擬店販売もあり、想いと笑顔、情熱が込められた2日間でした。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://izumihigh.myswan.ed.jp/>

(3) 塩釜高校

〈韓国との国際交流〉

ビジネス科で、7月に韓国全土から選抜された高校生を迎え、交流会を行いました。歓迎セレモニーの後、地元企業、専門学校、中学校の協力のもと、ミニ塩竈みなと祭を催して、日本文化に触れていただきました。その後鹽竈神社や、松島のガイドを行い、宮城の魅力発信をしました。韓国の生徒から「塩釜高校に入りたい。どうすれば入れますか？」と、校長先生に相談されるなど、最高の褒め言葉をいただきました。SNSの連絡先を交換した生徒の中には、その後の旅程で、学校付近での活動があった際に、合流するなど、言葉や文化の違いを感じないほど交流を深めることができました。本校生徒からも「とても良い経験になった」「また交流したい」という声が多くあり、国際的な視野が広がる良い機会となりました。

ビジネス科では、地域の良さを発信しながら、世界とつながる交流活動を積極的にを行い、異文化理解の育成に取り組んでいます。今後もこのような交流の機会を大切にしていきます。



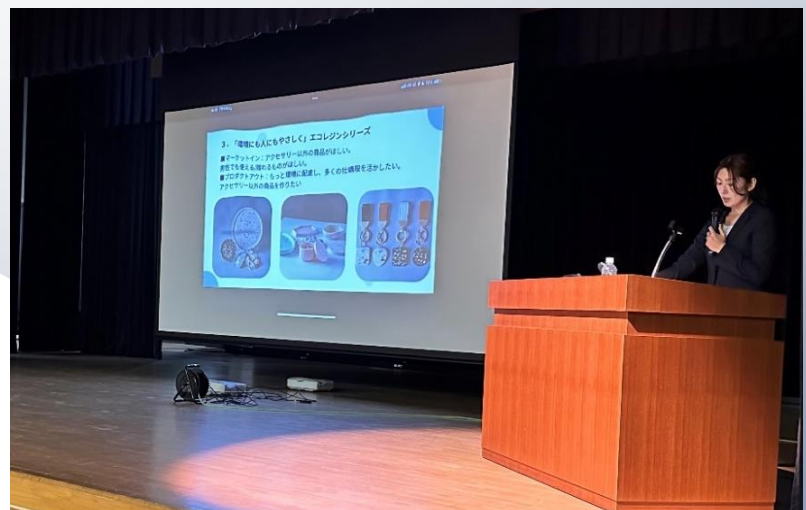
〈学校のホームページはこちらです〉

<https://shioko.myswan.ed.jp/>

(4) 松島高校

〈松島フォーラム〉

観光科では、1年生から3年生まで体系的に同じテーマで学びを深めていきます。そのために必要な知識や情報をインプットする目的で「松島フォーラム」を開催しました。今年度は、「シビックプライド」・「コミュニケーション力」・「思考力」を育み、「伊達政宗の心」と「SDGs 持続可能な幸福」をテーマに設定しています。午前中に、松島観光協会や松島町産業観光課、東北福祉大学、



NPO 法人環境生体工学研究所、伊達政宗歴史館の5名から講話をいただきました。午後から、1年生は観光地実習の事前打ち合わせ、2年生は宿泊業における接客用語の学習、3年生は地域資源の有効活用についてワークショップを行いました。ワークショップで、蠣殻クラフトオストリカのカナダ様から講話をいただき、実際に蠣殻を使ったキーホルダーの作成を行いました。

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://matsushima-h.myswan.ed.jp/>

(5) 古川高校

〈古高の暑くて短い夏〉

古川高校では、「古高祭」と呼ばれる文化祭が夏休み前に開催されます。今年度は7月18日（金）に校内発表、19日（土）には一般公開が行われました。一般公開日は、暑い日にも関わらず、多くの方に御来場いただき、文化部の日頃の活動の成果を見ていただきました。部活ごとやクラス単位で出店した模擬店も大いに盛り上がっていたようです。生徒会や文化祭実行委員が、文化祭がスムーズに進んでいく裏方の役割をしっかりと果たしてくれました。

7月28日（月）には、中学生対象のオープンスクールが開催されました。ここ数年の夏の暑さを考えて、冷房が効いた教室で、有志の古高生がiPadのデータをプロジェクターでスクリーンに映しながら、学校の紹介を行いました。古高生が中学生からの質問に直接答える時間もあり、来校した中学生は、古川高校での学校生活について理解を深めていました。

今年の夏休みは7月26日（土）から8月18日（月）までの約3週間です。勝負の夏、古高生は勉強に部活動に充実した毎日を過ごします。

1学年では、7月31日（木）に東北大オープンキャンパスに参加してきました。各教科からの夏休みの課題は、生徒が自分で考えて学習に取り組む事を念頭において出されます。生徒達は自分で考えて、計画的に学習に取り組み、更なる学力向上を意識して夏休みを過ごすことが求められます。

2学年では、夏休み中に開催される大学のオープンキャンパスへの参加を推奨しています。また、総合的な探究の時間で取り組んでいる探究活動を文献や論文を読んで進め、9月の中間報告会に向けての準備をすることが夏休みの課題の1つとなっています。部活動も3年生が引退して、いよいよ本格的に2年生が主体となって運営していきます。2年生が中心となって、暑く限られた夏休みの練習時間をどのように過ごすのか、こちらでも頭を使いながら、体力技術の向上に励みます。

3年生は入試に向けて勝負の時を過ごしています。7月25日（金）から8月8日（金）まで、夏期課外講習が実施されました。一日90分×5コマ（8：20～16：50）の設定です。冷房施設のある講義室をフルに活用し、猛暑下においても、快適に講習に集中することができます。また、古川高校には、個別に仕切られた学習スペース80席が生徒会館（蛍雪会館）2階に設置されており、冷房の効いた室内で、多くの生徒が朝早くから夕方6時半の下校時まで学習に励んでいます。図書室でも毎日決まった場所で、熱心に学習に取り組む生徒が多く見られ、各自スイッチが入る場所を確保しながら、集中して学習に取り組んでいます。



3A 講義室での講習風景

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

（６）松山高校

〈SST（ソーシャルスキル・トレーニング）〉

SSTは、社会生活や人間関係に必要なスキルを学ぶためのトレーニングで、主に人との関わりについて学ぶことができます。年間で５～８回全校又は学年で実施し、各学年の課題に合わせて様々なアクティビティーに取り組みます。

今年度の全校 SST では、学年の垣根を取り払ってグループを作り、「魔法の絨毯」に挑戦しました。４人で布を持って、30 個ほどのボールを隣のグループに落とさずに渡すというものです。6グループでチームを組み、どのチームがより早くボールを受け渡すかを競いました。いつものメンバーと離れて不満そうにしていた生徒が、先輩に声を掛けられて一緒に活動する中で笑顔になり、振り返りで「先輩と話ができて良かった」と話していました。経験を積み重ねることで、関わる力が身に付くことを目指します。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://matuyama-h.myswan.ed.jp>

（７）迫桜高校

〈教育課程の特色〉

迫桜高校では、たくさんの選択科目の中から、生徒自身がそれぞれの進路に必要な科目を選択し、「自分独自の時間割」を作ります。

科目選択のためには、生徒一人一人が自分自身の進路を考える必要があります。そのため、まず「産業社会と人間」という科目を１年次で学習し、進路について深く考えてもらうことにしています。この「産業社会と人間」は、科目選択のための学習、職業人講話、ライフプランニング等を通して、様々な角度から自分の将来について見つめる科目です。

その上で、生徒自身で科目選択を考える材料として、迫桜高校では進路に応じた科目選択のモデルを《系列》として示しています。《系列》は人文社会（令和７年度から人文国際と自然科学を統合）、福祉教養、情報ビジネス、エンジニアリング、アグリビジネスの５系列があります。この系列を参考にして自分の科目を選択することになります。

写真は今年行われた、アグリビジネス系列の田植えの授業の様子です。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(8) 石巻好文館高校

〈2年次分野別課題研究〉

本校では、校是「甲斐ある人と言われなむ」にちなみ、総合的な探究の時間を「甲斐ある人といわれたいむ」略して「甲斐たいむ」と呼び、各年次で特色ある活動を行っています。2年次では、自分で課題を発見し、調査研究に取り組む「分野別課題研究」を1年間かけて行います。

7月16日（水）、石巻専修大学、東北福祉大学、宮城学院女子大学から計12名の先生をお招きし、「大学教授出前講義」を実施しました。

生徒たちは、興味のある分野を選択し、大学教授の講義を受けることで、高校とは異なる大学での学びに触れることができました。また、自分たちの研究テーマについて、大学の先生方から具体的な御助言をいただき、新たな視点を得ることができました。生徒からは、「テーマは、仮説や研究プロセスも検討しながら考えなければいけないとわかり、改めてテーマ設定の難しさを感じた。」、「自分の興味のあることについて考えることはあっても、研究したことはなかったため、実験などを通してより考えを深めていきたい。」、「大学の先生からのアドバイスを受け、もっとテーマを絞らなければいけないと気づいた。また、テーマ設定をする際にも、様々な文献を調べて考える必要があるとわかったので、たくさんの情報を得てから改めてテーマを検討したい。」、「まずは気になっていることや疑問に思うことについて行動することで新たな発見があると気づいたので、積極的にチャレンジして、たくさんの学びを得たい。」などの感想がありました。

今後は、10月の中間発表、2月のポスター発表会に向けて、各グループで研究を深めていきます。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://koubunkan.myswan.ed.jp>

（９）石巻工業高校

〈全校応援練習～おお石工！石工！！石工！！！～〉

石巻工業高校では、毎年４月に応援練習を行っています。建学の精神を包括した校歌と士気高揚を図る応援歌を大きな声で堂々と表現することで、石工生としての自覚が芽生えていきます。単に声を出すだけでなく、生徒同士が気持ちを一つにして仲間への思いや連帯感を高めることで、５月の支部総体や６月の県総体に向けて全力を出し切ろうという思いになります。

１年生は、応援団や生徒会役員の指導を受け、１週間をかけて校歌と応援歌を覚えます。最初は恥ずかしさや緊張でなかなか声が出ていませんでしたが、回を重ねるごとに生徒たちの表情が引き締まり、応援することに対する自覚や誇りが生まれていきました。

全学年合同の練習では、３年生が圧巻の応援を披露してくれました。その力強さと一体感に満ちた姿が印象的で、下級生たちにとって大きな憧れとなったはずです。堂々と声を張り上げ、仲間を鼓舞する様子は、これまで積み重ねてきた経験と責任感が感じられました。

応援練習は、石工の伝統を継承しようとする意思と、石工生としての矜持を持つという決意を新たにするための大切な行事です。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://ishiko.myswan.ed.jp/>

（１０）石巻商業高校

〈同窓生による開校記念講演会〉

５月１７日（土）は、本校の開校記念日です。今年で１１４年を迎えます。例年、著名な同窓生を招き講演会を開催しております。今年は、難関の公認会計士に合格し、かなで監査法人で会計士として活躍されている勝又大夢（Ｈ３０卒）先輩に、「夢の実現へ向けて」という題で講演していただきました。高校時代の話、進路目標の設定方法や、公認会計士受験時の苦悩していた様子、仕事のやりがい等の話を聞くことができ、生徒たちはとても参考になったようです。昨年は、カヌー日本代表の永沼陵（Ｈ２４卒）先輩から御講演いただき、これもまた好評でした。

現在の在校生からも、講師が誕生してくれることを期待しています。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sekisyo.myswan.ed.jp>

(11) 本吉響高校

〈身近な自然と“ひびき”合う本吉響高校の環境教育〉

本校には、美しい桜が並ぶ「桜が丘」や、水田、川など多様な環境を活用した授業や活動が沢山あります。

今回は、主に理科関係で3つ紹介させていただきます。

①自然観察

草花や樹木、トンボ、土壌生物を採集してスケッチをしたり、野鳥観察を行ったりします。環境保全の重要性についても学ぶことができ、受講して1年後には、自然を見る目が変わります。

②環境と科学 A/B

理科の中で、環境と関連が深い分野を中心に学びます。環境問題や外来生物問題、災害対策など身近な話題も豊富で、環境を意識した行動ができるようになります。

③科学部の活動

毎日のように外に出て、身近な生物の観察や採集を行っています。採集情報は、環境省の「いきものログ」を使って発信しています。身近な生物の研究活動にも力を入れており、大学レベルの専門知識を習得できます。

理科以外にも、農業科や家庭科で豊かな自然を活用した授業を行っています。具体的な活動は学校 HP に掲載されておりますので、ぜひ御覧ください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://hibiki-h.myswan.ed.jp/>

3 生徒の活躍（活動の成果報告等）

（１）南郷高校

〈大崎耕土世界農業遺産支援プロジェクト〉

4月25日（金）、本校の全校生徒が「大崎耕土世界農業遺産支援プロジェクト」の一環として、大崎市鳴子温泉南原穴堰において用水路の清掃ボランティアを行いました。大崎耕土は水管理システムを中心に世界農業遺産に認定されています。この穴堰清掃ボランティアは、山間部における水管理システムについての学習の一環として毎年行っています。昨年度までは有志によるボランティアでしたが、今年度は学校行事として全校生徒で清掃作業を行いました。冬季間に積もった水路部の土砂や葉の排出等を手作業で行います。用水路の清掃は重労働で、当該地域は限界集落のため、高齢化や後継者不足などから水路の維持管理が年々難しくなっている現状があります。このボランティア活動を通して地域の抱える課題について学び考えるきっかけとなり、地域を愛する心が育まれています。



〈学校のホームページはこちらです〉
<https://nango-h.myswan.ed.jp/>

（２）築館高校

〈築高生の活躍〉

本校では12の運動部、6の文化部が活動しています。それぞれ、決して多いとはいえない部員数ではありますが、文武両道を基本とし、真剣に取り組んでいます。築高生の活躍の一部を紹介します。

〈令和7年度 宮城県高等学校総合体育大会 県大会〉

バレーボール部（男子）ベスト16

ソフトテニス部（女子）団体 ベスト16

卓球部（男子）団体 ベスト16

バドミントン部（男子）個人ダブルス ベスト32・64、

シングルス ベスト64、（女子）ダブルス ベスト64

サッカー部2回戦進出

剣道部決勝トーナメント進出

特設水泳部（女子）200メートル背泳ぎ第4位同100メートル第4位

〈令和7年度 高等学校総合体育大会 東北大会出場〉

ホッケー部（男女）

特設水泳部（女子）

〈2025年 春季宮城県大会〉

野球部 ベスト16

〈令和7年度 全国総合文化祭出場〉

弁論の部 奨励賞



〈学校のホームページはこちらです〉
<https://tukiko.myswan.ed.jp>

(3) 岩ヶ崎高校

〈岩高の魅力発信！「イイじゃん、イワコウ！」〉

〈イイじゃん、イワコウ！①…今年も「くりこま夜市」で「オモシロプロジェクト」六日町商店街は岩高生のホーム・グラウンドだ！〉

くりこま夜市では「六日町オモシロプロジェクト」と称して、日頃の探究的な学びを生かしたイベント・ワークショップを実施しました。小児がん支援レモネードスタンド、読書クラフト～葉やブックカバーを作ろう～、理想のコスメを考えよう、聴覚障がい者向け災害支援用バンダナの紹介をはじめ岩高生の探究活動の取組紹介や地域の方々との交流を図る機会となりました。また、科学部によるサイエンス・ワークショップ、軽音楽部の野外ステージなど岩高生の日頃の活動を紹介する機会となりました。



〈イイじゃん、イワコウ！②…青春、まっしぐら！ 2日間にわたる球技大会、盛大に！〉

7月10日（木）、11日（金）、岩高三大行事のひとつ「球技大会」が行われました。前日までこの時期にしては厳しい暑さに見舞われていましたが、ときには涼しさを感じる中、熱い戦いが繰り広げられました。今年は学年対抗で、教職員も各学年チームの選手の一員として汗を流しました。1日目の実行委員長あいさつ、代表生徒の選手宣誓から始まり、バドミントン、バスケットボール、ドッジボール、ボッチャ。2日目はバスケットボール、バレーボール、リレー、ソフトボールとすべての参加者がチームの代表として奮闘しました。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://iwagasakikou.myswan.ed.jp/>

4 入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）

（１）石巻高校

〈石巻高校オープンキャンパスは９月２７日（土）！〉

９月２７日（土）にオープンキャンパスを実施します！石巻高校の紹介に加えて、在校生が案内するキャンパスツアーを行います。また、部活動見学も行っておりますので、気になる部活動をぜひ見学してみてください！中学生のみなさんの来校をお待ちしています。

★日程★

９：００～ 受付

９：３０～ 全体説明会

９：４５～ キャンパスツアー／学校説明会

１１：４０～ 部活動見学

お申込みを希望される場合は石巻高校のオープンキャンパス担当まで御連絡ください。



昨年度の様子

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sekikou.myswan.ed.jp/>